



第78号



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION



2020.01

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL : 088-656-3303



謹賀新年

年頭のご挨拶



公益財団法人徳島県国際交流協会
理事長 黒石 康夫

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新しい年をお迎えになられたことと思います。

今年は「ねずみ年」、干支（えと）では、「庚子（かのえね）」とされており、「次の波を作り始める年」であるそうです。

当協会は、本年度で設立30年目を迎えました。これまで国際交流、国際理解を始め多文化共生社会実現に向けた事業を進めてこられたのも、県民の皆様を始め、関係各機関・団体の御支援、御協力の賜であると、心より感謝申し上げますとともに、新たな30年に向けて、「次の波」を作るべく、積極的に取り組んで参ります。

さて、当協会は、外国人の方への多言語での生活相談に応じるとともに、「防災訓練」や「日本語教室」の開催、阿波おどり「あらそわ連」の実施、県民の皆様へ外国人に対する理解を深めていただくための「外国人による徳島県日本語弁論大会」や「国際理解支援フォーラム」の開催、「通訳ボランティア」の紹介など、在県外国人を支援する事業を多数実施しております。

昨年は、相談支援にあたる多言語相談員に、英語、中国語に加え、ベトナム語相談員を追加するとともに、地域の行政機関等と連携し、外国人を支援するため、「地域外国人コーディネーター」を配置いたしました。

また、外国人に対する相談業務が円滑に実施できますよう、国の外国人材受入拡大に伴う「多言語総合相談窓口」を開設いたしました。

これに伴いまして、徳島行政監視行政相談センター、高松出入国管理局、徳島労働局、徳島弁護士会、徳島県医師会、徳島県司法書士会、徳島県行政書士会及び法テラス徳島等の相談支援機関をはじめ、徳島県及び県内市町村に御協力をいただき、「徳島県外国人相談支援ネットワーク会議」を拡充いたしました。御支援・御協力を頂きました多くの機関の皆様方に、改めて感謝申し上げます。

今年は、いよいよ「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。徳島県を訪れる外国人はもとより、昨年4月の入管法改正を受けて、技能実習生をはじめとする地域の在県外国人はさらに増加することが予想されます。当協会は、県内外国人との交流・理解を深め、生活や災害時の支援を担うことが期待されており、地域の国際化の旗振り役として、一層、貢献して参る所存でございます。

結びに、本年が皆様方にとりまして、幸多き年でありますことを御祈念申し上げますとともに、引き続き、当協会への御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

大規模災害時外国人対応想定訓練

(公財)徳島県国際交流協会(TOPIA)では、11月9日(土)、徳島県国際交流協会がある徳島駅クレメントプラザ6階「とくしま国際戦略センター」と屋上を利用して、巨大地震が発生した場合などに備え、外国人を支援するための訓練を行いました。14機関・団体の協力の下、130名(内外国人55名)が参加して下さいました。

簡易な避難所を再現し、避難所はどのような場所か、避難生活でのルールは何かなどを体験しました。また、大規模災害時外国人相談センターを開設し、外国人被災者への情報提供、避難所への通訳ボランティアの派遣、センター職員による避難所への巡回、外国人相談支援機関による相談会の開催などの訓練を行い、最後に、参加者全員で非常食(カレーライスなど)をいただきました。

参加者からの感想

- 今回の訓練を通じて、災害のことについて学ぶことができました。そして、日頃から防災について考えたいと思います。
- 様々な分野で外国人支援をしている団体があるのが知れて良かったです。
- 今まで災害を経験したことがない私にとって、今回の体験はとても勉強になりました。
- この様な大がかりな訓練を実施して下さいありがとうございました。実際に参加させてもらって、留学生の方の感想を聞けたり、自分自身もどのようなことができるのかを考える良い機会になりました。

訓練の様子



国際理解支援フォーラム2019 ～誰一人取り残さない世界に向けて～

長期社会体験研修生
齋藤 智子

12月15日（日）に美馬市協町にあるミライズで、徳島県主催の人権フェスティバル「とくしま共に生きるフェスタ2019」が開催され、プログラムの一部として、当協会は国際理解支援フォーラムを行いました。午前中は、徳島県に住む外国の方（インド、中国、ポルトガル、ドイツの4名）を講師に招き、お国の紹介や日本人が当たり前のことと思いがちな文化に驚いたエピソードなどを発表していただきました。午後からは、講師の方やJICAの留学生と文化交流をしていただく体験コーナーを設けました。地域住民の方をはじめ家族連れの方も多数参加し、民族衣装を着てみんなで微笑ましく写真撮影したり、外国のおもちゃを取り囲んで盛りあがったりするなど、国際色豊かで楽しい時間を過ごしていただくことができました。参加者の方からは、「なかなか徳島県西部の方では、このように外国の方と接する機会がないので、参加して本当によかった」という感想をいただきました。

何事も自分が見聞きし、体験しなければ、自分の思いは生まれません。フォーラムの中で、多文化共生社会実現のために、“外国人”や“日本人”という線引きをせず、“同じ人間”として接すること、自分にできる小さなサポートをすることから始めようという言葉がありました。

私は今回の運営に携わり、外国の文化や外国の方の意見を直接聞くこと、顔を見て交流することが本当に大切であると実感することができました。これからも、徳島のみなさんと共に楽しみながら国際交流ができ、誰もが住みよい社会について考える機会をつくっていききたいと思います。



徳島県外国人総合相談窓口

徳島県で生活する外国人のみなさんが、暮らしやすい地域社会を目指し、外国人総合相談窓口を開設いたしました。当協会では10月1日から英語、中国語、そしてベトナム語のほか、たくさんの言語で対応ができますので、仕事、医療、子育てなど生活でお困りのことがございましたら、当協会に來所いただくか、お電話いただければ対応させていただきます。

開所時間：10：00～18：00（年末年始を除く）

場所：とくしま国際戦略センター（公益財団法人徳島県国際交流協会）

多言語対応：（1）多言語（英語・中国語・ベトナム語）相談員の配置

（2）多言語翻訳アプリ（ボイストラ）の導入

（3）4者間電話通訳システムの導入

（通訳事業者、行政機関を交えて相談できる）

【対応言語】18言語

①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語 ⑤インドネシア語 ⑥タイ語 ⑦マレー語

⑧タガログ語 ⑨ネパール語 ⑩ミャンマー語 ⑪クメール語 ⑫ポルトガル語 ⑬スペイン語

⑭フランス語 ⑮ドイツ語 ⑯イタリア語 ⑰ロシア語 ⑱モンゴル語

（4）対面式通訳機（ポケットーク）の導入（74カ国語）

（5）映像通訳システムの導入（相談者と戦略センター等での対面相談に対応）

【対応言語】8言語

①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語 ⑤タイ語

⑥ポルトガル語 ⑦スペイン語 ⑧ロシア語



相談専用TEL：088-656-3312、088-656-3313

相談料：無料（ただし、電話代は自己負担となります）

毎年秋に開催している「秋の阿波おどり」にあらそわ連外国人選抜チームが出演いたしました。このイベントに向けて国際色豊かなメンバーたちは気持ちを一つにし、大舞台での出演のため、練習に励んでまいりました。11月2日（土）、緊張や不安もありましたが、忘れることのできない光景を前に演舞することができました。



大好きな阿波おどり、大好きなあらそわ連！

鳴門市国際交流員
翟 羽佳

11月2日から4日、アスティとくしまで秋の阿波おどりが開催されました。3日間に渡り、徳島県の有名連による素晴らしい阿波おどりが披露されました。私たちあらそわ連も今回のイベントに出演することが出来ました。

私たちのパフォーマンスは11月2日の午前で、出演時間は15分ぐらいでした。私たちは朝早く会場に着き、リハーサルを行い、無事に本番のパフォーマンスを披露することができました。

今回の秋の阿波おどりのために、有名連であるのんき連の指導を受け、9月から強化練習に励みました。リズム感を鍛えることから演出構成、それから鳴り物と合わせた仕上げまで、みんな真剣に練習してきました。女踊りの中には、初めて下駄を履く人が多く、最初は下駄に慣れませんでした。特に、つまさきを立てて踊る時、足指の間の痛みが酷くて大変でした。しかし、指導して下さる先生方の励ましの下、みんな

笑顔で痛みを乗り越え、練習してきました。

私たちは、12か国から来たメンバーであり、言葉が通じなくても、同じ目標に向けて練習し、阿波おどりを楽しんできました。あらそわ連の一員として、今回のイベントで踊れることが出来て本当に嬉しく思っています。毎回、練習のために、私は鳴門市と徳島市の間で行ったり来たりしていて、正直、疲れも感じたのですが、やりがいがあると思いました。今回の秋の阿波おどりの出演時間、仲間たちと一緒に練習した日々、それらはすべて私の貴重な思い出となっています。

ご指導くださいましたのんき連の皆様、そして、サポートしてくださいましたスタッフの皆様に感謝の気持ちで一杯です。今後も、また皆様と一緒にあらそわ連で練習し、踊りたいと思います。



ホームステイ・ホームビジット事業

当協会では徳島県地域留学生交流推進協議会との共催で、徳島県内の留学生とそのご家族を対象に、ホームステイ・ホームビジットを実施しています。今年度は令和元年11月16日（土）から11月17日（日）に、留学生19名が参加しました。ホストファミリーの方たちの御協力により、留学生たちは教科書では学ぶことができない、生きた日本語や生活習慣等を体験できたのではないのでしょうか。

ホストファミリーからの感想

- ☀️ たくさん話が出来たことです。日中は色々とおかけましたが、子供が多いので終始ワイワイガヤガヤと…という感じでした。少しずつ子供たちも慣れてきて、手を繋いだりして、留学生の2人も子供とのやりとりを楽しんでくれたと思います。
- ☀️ 異文化について話を聞くことができ、他国への関心が深まりました。
- ☀️ 昼から眉山山頂、文化の森公園を散策後、帰宅してから、留学生に夕食の支度を手伝ってもらったり、食器洗いをしてもらったりしました。
- ☀️ おでんは事前に作っておき、タコ焼きを一緒に作りました。タコは苦手とのことだったので、タコなし焼きでしたが、たくさん食べてもらえました。朝食時には、色々なご飯のお供を試してもらいました。納豆は想像通りの味だったようでやはり苦手で、なめたけが好評でした。
- ☀️ 相手方の国のことをより理解でき、ますます興味も持つことができました。子供たちも楽しみにしていて、よかったと言っていました。
- ☀️ 英語しかわからない学生とは単語の組み合わせやスマホの翻訳機能、身振り手振りでなんとかになりました。
- ☀️ とても礼儀正しく、出身地の手土産などお心遣いもあり、感心しております。後片付けをしている時にも「お手伝いする事はありますか？」と気遣ってくださり、とても助かりました。

留学生からの感想

- 🌿 ホームビジット中に経験した全てのことは本当に良かったです。その中でも一番良かったのは、ホストファミリーとの会話です。私は日本の家庭環境の雰囲気味わえたことや、私たちの文化をホストファミリーに紹介できたことが良かったです。
- 🌿 ホストファミリーの2人のお孫さんたちがずっとそばにいてくれて嬉しかったです。また、なんでも話してくれて感動しました。
- 🌿 いろいろな体験をしました。一番楽しかったのは家族と一緒にうどんを作ったことです。たくさんの日本人と一緒に話すことができたし、台湾の文化も伝えることができたので良かったです。
- 🌿 とても充実した時間を過ごすことができました。新町ボードウォークでの散歩、ひょうたん島クルーズ、日曜市などを楽しみました。午後はホストファミリー宅で、お子さんたちとクリスマスツリーの飾り付けをし、楽しく交流できました。ホストファミリーと一緒に夕食の準備をし、天ぷら、みそ汁、照り焼き、いなりずし、おもち等の作り方を学ぶことができ、とても良かったです。味付けなどの方法がとても興味深く、作った料理はどれも美味しかったです。
- 🌿 ホームステイ先のお子さんたちがとても可愛かったです。みんなと一緒に日本の生活について話げたのは良かったです。
- 🌿 日本の文化や伝統を理解するのに役に立ちました。多くの私の故郷の文化が日本の文化に似ていたり、もしくはまったく同じものがあったことに気付きました。アジア人として、私たちは共通の価値観を共有していると思います。
- 🌿 日本の家庭料理や日本の家について話をたくさん聞きました。中国とは確かに大違いでした。驚きましたが、視野が広がりました。



～県内国際交流団体活動紹介～

交流を通して絆を強く



徳島インドネシア友好協会
事務局長 今川 薫

徳島インドネシア友好協会の歴史は古く1973年（昭和48年）に設立されています。

当時の南海病院長川端正雄先生がジャカルタの病院に透析装置を寄贈された経緯もあり、医療や経済分野での交流も活発に行われていたと記録に残されています。

今は時代も変わり、留学生の他に介護福祉に携わる人たちも多く来徳しております。その人達が徳島での生活を楽しく送り、日本の文化に親しみながら、インドネシアの文化も発信してもらえるように、交流の場を多く持つことを心掛けています。

活動としては、サツマイモの植え付け・収穫、その時にはバーベキューやそうめん流しをして食事をしながらの親睦交流を図ります。イスラム教の人たちが多いので魚を中心とした素材で、大きなマグロのカマは人気があります。

特に徳島といえば「阿波おどり」、夏の演舞場での踊りが一番の楽しみになっています。四国ガス株式会社とのご縁で、毎年インドネシアの民族衣装を着て藍場浜演舞場と内町演舞場へ躍り込んでいき、観客から大きな拍手をいただいています。バリダンスの踊り子が着るような金色の衣装は目を惹く物があります。また、先

日、徳島県国際交流協会のご指導をいただきながら初めての防災講座を持ちました。「自分の命は自分で守る」をテーマにして自分が生活している地域の実態を調べたり、その時の対応を考えたりと実りある講座になりました。2月には日本文化を体験する場として和服を着て、抹茶を点てていただく機会を持つことにしています。

さらに、桜の咲く時期にはインドネシアの人たちが花見を計画し、友好協会の会員達を招待してくれ、インドネシア料理を楽しみます。このように相互に交流の場を持ちながら親睦を深めています。

しかし、最近は個人情報の縛りにあい、日本人と結婚して徳島にいる人の実態がわかりにくく、連絡ができない人たちも多くいることが残念です。また、介護福祉に携わる人たちが仕事のシフトから日曜日などに集まりにくい実態や企業実習生の人たちへ手の届かない悩みもあります。

会員も高齢化していますが、今後できるだけアンテナをのびし、各地に散在して孤独にいる人達を私達の集まりに招き、たまには母国語でおしゃべりを楽しむ場をつくっていきたいと思っています。

阿波おどり集合写真



芋の収穫作業やBBQを楽しんだ仲間たち

芋づるの植え方を勉強中



BBQの準備中！



防災について学ぼう！



防災講座に集まった人たち

JICA徳島デスクのページ

JICA（独立行政法人 国際協力機構）は、日本のODA（政府開発援助）の実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「信頼で世界をつなぐ(Leading the world with trust)」というビジョンを掲げ、多様な援助手法を組み合わせ、最適な解決策を提供することで、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

■JICA海外協力隊（JICAボランティア）「全国説明会キャラバン【徳島】」の開催

- ◇プログラム：■事業概要：事業概要／応募、派遣、帰国後のサポートについて／経験者によるプレゼンテーション
■経験者との座談会：応募、派遣中、帰国後のよくある不安や疑問について経験者が答えます。
■個別相談会：個別の不安や疑問に経験者が答えます。
◇日時：2020年1月25日（土）
午前部：11時から13時30分 / 午後部：14時30分から17時
（※午前、午後と内容は同じです。ご都合の良い回にご参加ください。）
◇会場：とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター）会議室4（5F）
（徳島県徳島市徳島町城内2番地1）
◇参加申込方法：下記のリンクより事前予約が必要です。（応募〆切：1月23日（木）17時）
URL：<https://www.jica.go.jp/volunteer/seminar/place/>



■2020年度「JICA海外協力隊」春募集：2020年2月20日（木）～3月30日（月）

JICA海外協力隊とは、開発途上国の人々と共に生活し、相互理解を図りながら、技術や経験を活かして人々の自助努力を促進させる形で協力活動を展開していく海外でのボランティアです。

◇募集期間：2020年2月20日（木）～2020年3月30日（月）正午

◇詳細URL：<https://www.jica.go.jp/volunteer/>

～新生児蘇生法の講習～
（森口愛子隊員/ラオス/看護師）



■JICA四国の事業メニュー紹介

四国には、その自然環境と歴史・文化に培われた多様で優れた技術やノウハウが数多くあります。JICAでは、地域で発展してきた技術や経験を開発途上国の発展にも活用し、国際協力を通じて地域の活性化や国際化にも貢献していきたいと思っています。JICA事業にご関心のある方は、ぜひお気軽にご相談ください。

◆草の根技術協力事業

技術協力を通じて途上国の方々の生活改善を支援しています。

【事業提案の応募は、以下の3コース】

- 草の根協力支援型（3年以内、1,000万円以内）
- 草の根パートナー型（5年以内、1億円以内）
- 地域活性化特別枠（3年以内、6,000万円以内）

◆開発教育支援事業

地域や学校の皆さんと世界を学びます。

教員向けJICA地球ひろば「先生のお役たちサイト」学習指導案・写真・映像・パンフレットデータ・教材／教師海外研修／JICA海外協力隊への現職参加

→検索「JICAお役立ち」

児童・生徒向け国際協力出前講座・国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

◆研修員受入事業

開発途上国からの研修員が四国の知識、経験を学んでいます。大学・地方自治体・民間団体などの協力を得て、四国の特性を活かした四国ならではの研修を実施しています。

◆中小企業・SDGsビジネス支援事業

四国の技術、世界へ！四国の民間企業と途上国を繋ぎます。

- 基礎調査（850万円上限）
- 案件化調査（3,000万円、機材輸送が必要な場合は5,000万円上限）
- 普及・実証・ビジネス化事業（1億円、大規模／高度な製品等を実証する場合は1.5億円を上限）
- 「JICA海外協力隊（民間連携）」を通じたグローバル人材の育成

JICA徳島デスクでは、いつでも皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

デスク：徳島県国際交流協会（TOPIA）内、徳島県国際協力推進員：長田

TEL：088-656-3303 Email：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

「とくしま外国人支援ボランティア会員」

＊募 集 中＊

徳島には約85か国、6,000人を超える外国人の方が住んでおり、昨年4月からの「外国人材の受け入れ拡大」などにより、今後ますますその数は増えていくことが予想されます。彼らが、この徳島で国籍などに関係なく生き生きと生活することができるよう、ボランティアになって支援していただきながら一緒に国際理解や多文化共生を推進していきませんか？

また今年の「東京オリンピック・パラリンピック」、更には来年の「ワールドマスターズゲーム2021」の開催により、ますます多くの外国人をサポートするボランティアが必要になると見込まれております。ぜひご登録いただき一緒に活動しませんか？

詳しくはとくしま国際戦略センターホームページに新設された「ボランティア募集」をご覧ください。

URL <https://volunteer.topia.ne.jp/recruit/page01.html>

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

人とふれあい人とつながり

多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報や会議室の予約を優先して受けることができます。さらに特典の充実に務めてまいります。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費	個人会員	一口	3,000円/年度
	団体会員	一口	10,000円/年度

在住外国人の方対象の「防災出前講座」をご活用下さい！

当協会では、近年危惧されている南海トラフ巨大地震や、年々増えつつあるその他の自然災害から身を守るために、在住外国人の方を対象にした防災出前講座（言語：やさしい日本語・英語・中国語・ベトナム語）を開催し、防災意識の啓発をおこなっています。＊申込は当協会まで。



「多文化共生の社会づくり」パネルを貸し出します

あいぽーと徳島と当協会では、徳島県の多文化共生への取り組み等を紹介した人権パネルを貸し出しています。講演会や研修会などの際に、このパネルと一緒に展示しませんか？当協会にお申し込みください。



問い合わせ：公益財団法人徳島県国際交流協会
〒770-0831

徳島市寺島本町西1-61

クレメントプラザ6F

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp>